

# 財政状況のお知らせ

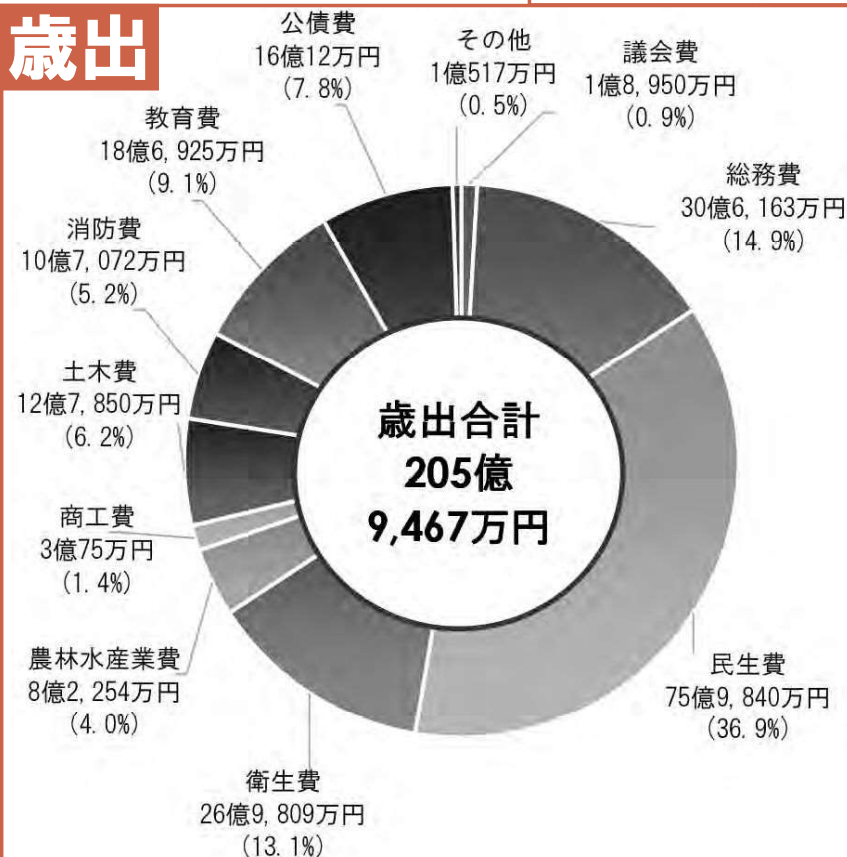
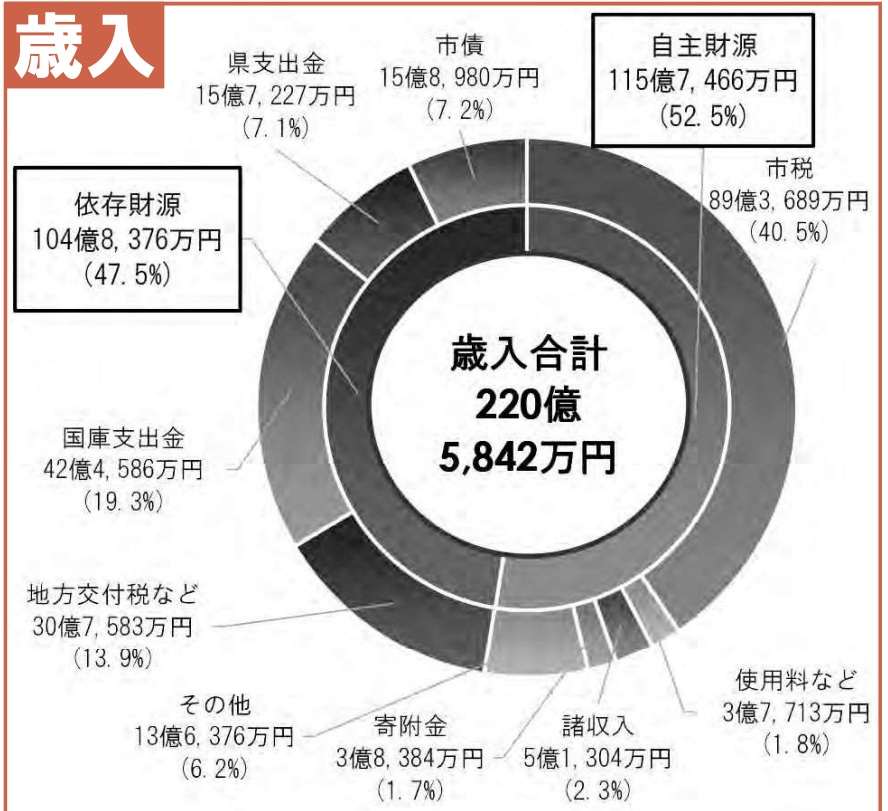
市民の皆さんが納めた税金などが、どのように使われているかをお知らせします。

今回は令和3年度決算の概要、健全化判断比率の状況、令和4年度上半期予算執行状況などを公表します。

## ○令和3年度決算の概要

一般会計の歳入決算額は220億5,842万円の前年度比15.9%の減、歳出決算額は205億9,467万円の前年度比17.9%の減となっています。歳入・歳出ともに大幅に減額となっているのは、令和2年度に新型コロナウイルス感染症対策として国の施策により実施した、市民1人あたり10万円を支給する特別定額給付金、歳入・歳出ともに約44億円であったことが、大きな要因として挙げられます。

市税は、法人市民税・法人税割および固定資産税・償却資産の大幅な減額により、全体では約6億5千万円の減額となりました。



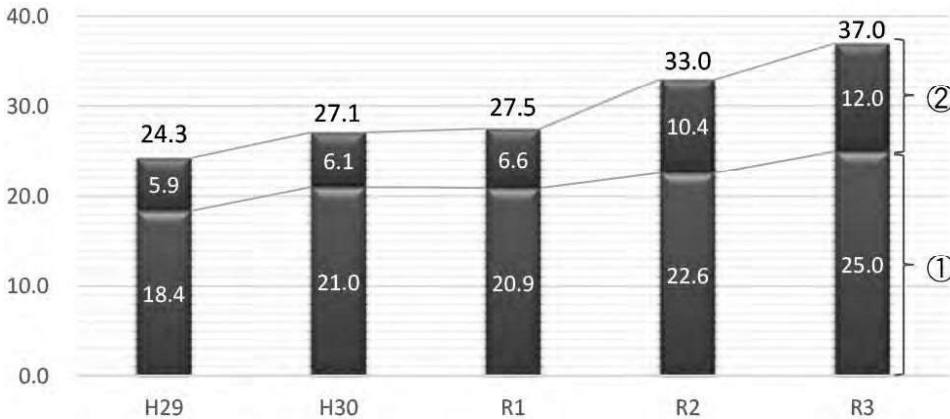
令和3年度に市民の皆さん1人あたりに使われたお金は、**485,930円**でした。  
 ※歳出決算額 ÷ 42,382人 (住民基本台帳人口 令和4年3月31日現在)



<b>自主財源</b>	富津市が自らの権限で得られる財源	<b>議会費</b>	市議会の運営など					
	市税		市民税、固定資産税など市に納付される税金	<b>総務費</b>	庁舎の管理、企画関係、税金賦課徴収、戸籍管理、選挙、統計調査など			
	使用料など		公共施設の使用料、住民票の交付手数料など		<b>民生費</b>	子育て支援、生活保護、高齢者支援、障がい者支援、保育所運営費など		
	諸収入		市税延滞金、預金利子、貸付金の元金収入、その他雑入など			<b>衛生費</b>	各種検診、予防接種、環境対策、ごみ処理、公害対策費など	
	寄附金		ふるさと納税などの寄附金				<b>農林水産業費</b>	農業・林業・水産業の振興費など
	その他		財産収入、基金からの繰入金、前年度で生じた剰余金のうち当該年度への繰越金					<b>商工費</b>
<b>依存財源</b>	国・県から交付される財源など	<b>土木費</b>	道路・橋・河川・公園・市営住宅の管理、都市計画など					
	地方交付税など		国や県が徴収した特定の税などから分配されるもの	<b>消防費</b>				
	国庫支出金		市の事業に対し国から交付されるもの		<b>教育費</b>			
	県支出金		市の事業に対し県から交付されるもの			<b>公債費</b>		
	市債		国や金融機関などから調達する長期的な借入金				<b>その他</b>	

## 一般会計の基金（貯金）残高推移

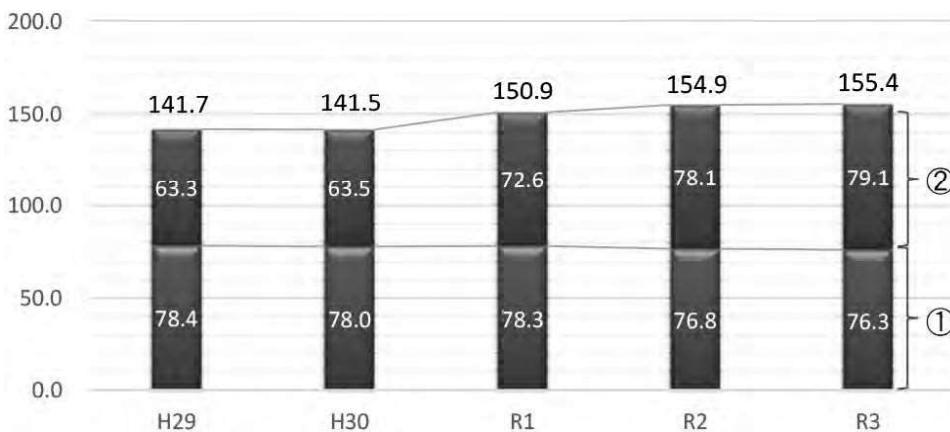
①財政調整基金 ②その他の基金（単位：億円）



市の貯金である基金の残高は、前年度の33億円から4億円増の37億円となりました。このうち、財政調整基金は、前年度決算剰余金の2分の1以上の3億8千万円を積み立てましたが、災害関連事業や感染症対策などにより1億4千万円を取り崩し、25億円となりました。

## 一般会計の市債（借入金）残高推移

①臨時財政対策債 ②臨時財政対策債以外（単位：億円）



市の借入金の残高は、小・中学校トイレ改修事業や防災情報通信ネットワーク整備事業などの財源としたことにより、前年度の154億9千万円から5千万円増の155億4千万円となりました。市債は臨時財政対策債などを除き、将来に渡り便益を受けることとなる道路や建物の整備費などを借り入れ、その支払を分割させることで、現世代と後世代の住民とで負担を公平化させる役割を担っています。

会計名		歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計		220億 5,842万円	205億 9,467万円	14億 6,375万円
特別会計		117億 6,662万円	115億 6,116万円	2億 546万円
内訳	国民健康保険事業	57億 1,121万円	56億 1,201万円	9,920万円
	後期高齢者医療	6億 7,240万円	6億 7,010万円	230万円
	介護保険事業	53億 8,301万円	52億 7,905万円	1億 396万円

## ○健全化判断比率の状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、「健全化判断比率」を公表します。

算定した比率が国の定めた早期健全化基準や財政再生基準を上回ると、財政運営上危険な状態と判断され、それぞれの計画に従い、財政健全化を図ることになります。

富津市の令和3年度決算に基づく各比率は、いずれも基準を下回っています。

### 健全化判断比率

指標名	富津市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	13.03%	20.00%
連結実質赤字比率	赤字なし	18.03%	30.00%
実質公債費比率	8.20%	25.00%	35.00%
将来負担比率	46.20%	350.00%	

**財政健全化の比率はいずれも基準を下回っています。  
引き続き、経営改革に取り組んでいきます。**

### 用語解説

・ **実質赤字比率**

一般会計の実質的な赤字が、市の年間の収入に対して、どの程度かを示す指標

・ **連結実質赤字比率**

公営企業会計を含む全ての会計を合算し、市全体としての赤字の程度を示す指標

・ **実質公債費比率**

借入金の実質的な年間返済額が、市の年間の収入に対して、どの程度かを示す指標

・ **将来負担比率**

将来的に市が支払うべき負担見込額が、市の年間の収入に対して、どの程度かを示す指標



# ○令和4年度上半期予算執行状況など（4月～9月）

令和4年度の予算の執行状況、市債の現在高などをお知らせします。予算の執行状況は上半期中の収入と支出を示すもので、市債の現在高は市の借入金の状況を示しています。

これらは市の財政状況が現時点でどのような状況にあるかを市民の皆さんにお伝えするため、年2回（5月・11月）公表しています。

## 一般会計の執行状況

歳入	予算現額	収入済額	収入率
市税	85億9,097万円	50億1,611万円	58.4%
交付税など	30億6,776万円	16億2,528万円	53.0%
使用料など	4億1,868万円	1億4,998万円	35.8%
国庫支出金	36億3,190万円	7億201万円	19.3%
県支出金	14億352万円	1億6,023万円	11.4%
寄附金	5億811万円	8,816万円	17.4%
諸収入	3億4,703万円	9,794万円	28.2%
市債	23億1,600万円	0円	0.0%
その他	11億3,144万円	8億4,085万円	74.3%
合計	214億1,541万円	86億8,056万円	40.5%

歳出	予算現額	支出済額	執行率
議会費	2億369万円	1億649万円	52.3%
総務費	29億1,498万円	10億8,372万円	37.2%
民生費	70億7,597万円	24億1,539万円	34.1%
衛生費	36億880万円	8億6,447万円	24.0%
農林水産業費	7億6,332万円	1億4,025万円	18.4%
商工費	2億3,116万円	1億3,290万円	57.5%
土木費	19億2,732万円	7億6,759万円	39.8%
消防費	9億4,669万円	3億8,823万円	41.0%
教育費	20億1,355万円	6億4,254万円	31.9%
公債費	16億7,025万円	8億2,069万円	49.1%
その他	5,968万円	2,895万円	48.5%
合計	214億1,541万円	73億9,122万円	34.5%

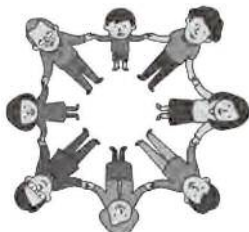
※予算現額とは、当初予算額に補正予算額などを加えたものです。

## 特別会計の執行状況

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	58億477万円	21億9,083万円	21億3,555万円
後期高齢者医療	7億656万円	2億4,348万円	1億3,675万円
介護保険事業	54億6,381万円	22億8,587万円	22億1,006万円

### 市債の現在高

一般会計	147億4,928万円
特別会計	0円



### 市民1人あたりの市債負担額

**350,873円**

※市債現在高 ÷ 42,036人

### 1世帯あたりの市債負担額

**734,782円**

※市債現在高 ÷ 20,073世帯

人口:42,036人 世帯:20,073世帯  
(住民基本台帳人口)

令和4年9月30日現在)

※1万円未満は四捨五入しています。 問 財政課 ☎ 0439-80-1237

### 一時借入金の状況

一般会計	0円
特別会計	0円

### 市の主な財産

土地	2,026,420㎡
建物	156,643㎡
財政調整基金	31億3,569万円
その他の基金	22億3,522万円